



津波防災の日(11/5)に際しての 石油連盟総合訓練について

2019年10月

東日本大震災を契機として、様々な分野で国土強靱化に向けた対策が進められている中、石油業界においても、対策の強化に積極的に取り組んできたところです。

このたび、以下のとおり、石油業界の強靱化に向けた取り組みの一環として昨年に引き続き、数千人規模にのぼる、津波防災の日に際しての総合訓練を実施することといたしました。



石油連盟 および 会員各社は、「津波防災の日」
(11月5日)もしくはその近傍で、次の取り組みを実施します。

		実施時期	参加者数
1	津波防災に関する講演会(※1)	10月28日	約90名
2	製油所および油槽所(石油配送中継基地)で導入している 非常用発電機、ドラム缶出荷設備等(※2)の動作確認等	11月5日 ほか	約1,000名
3-1	各社の自主的な防災訓練の実施等	11月5日 ほか	約3,000名
3-2	緊急地震速報訓練への参加	11月5日	約6,300名

※1:石油化学工業協会および日本化学工業協会と共催(石連・石化協・日化協会員の安全防災担当者を対象として、津波防災および津波研究に関する専門家による講演会を石化協・日化協と合同で開催)。

※2:いわゆる「3点セット」(非常用発電機、ドラム缶出荷設備、衛星電話等情報システム)。

1. 津波防災に関する講演会 (10月28日(月)14:00～16:25)

各社安全防災担当者を対象とした大規模自然災害への対応に関する講演会を石化協・日化協と合同で開催(各団体会員の安全防災担当者を対象)。

約90名の参加

- 出光興産 北海道製油所安全環境室 西永室長による、北海道胆振東部地震時の状況と対応に関する講演。
- 千葉県防災危機管理部消防課 予防・石油コンビナート班 小高班長による、千葉県京葉コンビナートにおける自然災害対応体制に関する講演。
- 過去の自然災害時における対応経験を踏まえた準備のあり方や、自治体の災害対応体制の一例として千葉県の事例を知ることにより、総合的な防災対策に万全を期すための具体的な検討の一助とすることを目的。
- 於：日経ホール&カンファレンスルーム(6F)
大手町セミナールーム2 (東京都千代田区)



2. 製油所および油槽所で導入している 非常用発電機、ドラム缶出荷設備、衛星電話の 動作確認等

いわゆる3点セット(非常用発電機、ドラム缶出荷設備、衛星電話等)を補助事業で導入した製油所・油槽所などにおいて、試運転や動作確認を行うとともに、衛星電話等による連絡テストを実施。

約1,000名の参加 (72事業所)

- 非常用発電機については、試運転あるいは要領書の確認などを実施。
- ドラム缶出荷設備については、要領書の確認、ノズルの設置やドラム缶搬入などの模擬訓練あるいは実際の積み込み等を通じた使用方法の確認などを実施。
- 衛星電話については、事業所と本社の間での通話テストなどを実施。





3-1. 各社の自主的な防災訓練の実施等

11月5日もしくは近傍で、各社は自主的な地震・津波防災訓練を実施。各社製油所等における、大津波警報を受けた緊急放送の実施、緊急避難訓練、通報訓練、安否確認、装置の緊急停止の手順確認、事業所内の連絡訓練など。

約3,000名の参加(※1)

- 緊急避難訓練では、身の安全確保、避難指示と避難の実施、避難経路の確認や避難に要する時間の確認などを実施。
- 製油所装置の安全停止のため、その措置・手順等の確認は極めて重要。

※1:津波防災の日前後である10月～11月に、製油所・本社等で実施する訓練の参加者数。



3-2. 緊急地震速報訓練への参加

11月5日に実施される「緊急地震速報訓練」に参加し、気象庁が発信する緊急地震速報を受信する等、身の安全確保、避難、安否確認などの訓練を実施。

約6,300名の参加

(53事業所の積上げ)

- ・ 製油所、本社、支店等での実施を計画。
- ・ 11月5日10:00頃に気象庁が緊急地震速報を発信。国の機関、地方公共団体、民間企業、個人等が参加。

11月5日(火)は 津波防災の日

緊急地震速報の訓練に参加しましょう!

緊急地震速報を見聞きしたときに、慌てず身を守る行動ができるようにしましょう

令和元年11月5日(火)10時00分頃に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。

※訓練の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール(エリアメール)には流れません。(一部のコミュニケーション機器を除く)

普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう!

国土交通省 気象庁

うやって訓練に参加するの?

行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合のお知らせ、気象庁のホームページなどでご確認ください。備えをお待ちの方応援される!! 訓練用の緊急地震速報や受信機などに合わせてみましょう。方で公開している訓練用動画や、スマートフォンでみましょう。

速報を聞いたら、どうすればいいの?

したときの行動は、まわりの人に声をかけながら、あわてずに、まず身の安全を確認することが基本です。

1 震動が強い場所から離れて! 2 揺れが強い場合は、机の下やテーブルの下に身を隠す! 3 揺れが強い場合は、机の下やテーブルの下に身を隠す!

地震の時の安全行動は1-2-3がないとつらい訓練です。行われる自治体にお住まいの場合は、お住まいの自治体のホームページなどでご確認ください。

緊急地震速報は、地震発生から約10秒から15秒程度遅れて伝達されます。また、地震発生から約10秒から15秒程度遅れて伝達されます。また、地震発生から約10秒から15秒程度遅れて伝達されます。

緊急地震速報を活用した訓練について 緊急地震速報 訓練

お問い合わせ先 気象庁 地震火山部管理課 地震速報班 担当 電話 03-6122-8122 東京都千代田区文京1丁目3番4号 電話 (03) 5212-8341 (内線4666)